

平成 29年 死亡災害発生状況 (確定版)

沖縄労働局

番号	所轄署	型 別	起因物別	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発 生 状 況
1	沖縄	交通事故(道路)	トラック	警備業	2月上旬	60歳代以上	50～99	公園内を軽トラックで警備巡回中、Uターンするため敷地外の村道に出たところ、軽トラックが縁石にぶつかって横転し、被災者が車外に投げ出されたもの。
2	那覇	墜落・転落	建築物、構築物	その他の教育研究業	2月下旬	20歳代	10～29	校舎の屋上約18メートルの高さから墜落し死亡した。
3	八重山	その他	起因物なし	その他の商業	3月上旬	30歳代	10～29	1か月間に100時間以上の時間外労働を行ったことや、仕事上の過重な責任の発生等が重なり、精神障害を発病し、事業場施設内で自死した。
4	那覇	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	電気通信工事業	5月上旬	60歳代以上	1～9	平屋住宅に太陽光発電パネルを設置する工事で、最終チェックのため現場に訪れた被災者が高さ3mの屋上から墜落し負傷した。入院治療を続けていたが、翌月に死亡した。
5	那覇	崩壊、倒壊	建築物、構築物	セメント・同製品製造業	5月上旬	50歳代	10～29	生コン工場において砂堆積ヤード付近でコンクリートミキサー車の始業前点検を行っていた労働者が突然倒れてきた砂堆積ヤードの擁壁に当たりはね飛ばされ死亡した。ヤード内ではトラクター・ショベルを使用して擁壁側に砂を積み上げる作業をしていた。
6	沖縄	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	警備業	7月下旬	40歳代	100～299	建築現場において、上水管引き込み工事現場における公道の交通誘導を1人で行っていた警備員が、業務中にふらつき倒れ込んだため、救急搬送されたが、搬送先の病院で4日後に死亡が確認された。 【熱中症】
7	沖縄	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	7月下旬	40歳代	1～9	住宅新築工事現場において、擁壁の型枠建込み作業中にけいれんを起こし倒れ、病院へ搬送されて入院中であったが、2カ月後に死亡した。 【熱中症】
8	沖縄	崩壊、倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	その他の土木工事業	8月中旬	40歳代	10～29	敷地(駐車場)造成工事現場において、石積擁壁の石積み作業中に積み石が崩れ、石積みをしていた被災者が石の下敷きになり死亡した。
9	沖縄	墜落・転落	トラック	その他の廃棄物処理業	8月中旬	60歳代以上	1～9	清掃施設敷地内の道路において、粗大ゴミ回収の貨物自動車(ダンブトラック、最大積載量1.45トン)の荷台に労働者2名が乗車していたところ、右折する際に、被災者1名が荷台に積んであったテレビボードと共に荷台後方から転落したものを。

平成 29年 死亡災害発生状況 (確定版)

沖縄労働局

番号	所轄署	型 別	起因物別	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発 生 状 況
10	名護	はさまれ・巻き込まれ	移動式クレーン	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	9月下旬	50歳代	1～9	積載型トラッククレーンに積み込んだ鉄筋を1人で積み降ろしの為に、傾斜地に停車させて左側アウトリガーを張出し下降設置させた際、前方に約8度の下降傾斜地であったため、動きだしたクレーンのアウトリガーの前方に位置していた被災者がなぎ倒され、左後輪に轢かれたもの。
11	那覇	おぼれ	水	その他の接客娯楽業	10月上旬	20歳代	1～9	慶良間諸島前島沖で行われていたボートシュノーケリングツアーの休憩時間を利用して素潜りの練習をしていたところ、ダイビングインストラクターが水深15～16mの海底に沈んだまま動かなくなっているのが発見された。
12	名護	墜落・転落	足場	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	10月上旬	50歳代	1～9	住宅建築現場で作業中約5.7mの足場から転落により頭などを強打し意識不明の重体となっていたが、数日後に搬送先の病院で死亡した。
13	沖縄	墜落・転落	はしご等	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	11月上旬	60歳代以上	10～29	住宅防音工事現場において、高さ2.97mの箇所の容型枠解体を行っていた被災者が、架台(うま)と共に倒れているところを発見され病院へ搬送されたが、頭部打撲による頭蓋内損傷により、搬送先の病院で死亡した。
14	那覇	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	電気通信工事業	12月上旬	40歳代	1～9	社用車を運転していたところ、道路脇の信号機に衝突し胸を強打し、胸圧迫による肺挫傷により死亡した。